

令和5年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定実績一覧

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績(成果・達成度)	補助申請額	交付決定額	確定額
1	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会	生ごみを焼却せずに堆肥化することにより、家庭から排出される生ごみの減量・地球温暖化防止・資源の有効活用を図る。家庭から排出される生ごみ及び生垣の剪定くずを堆肥化し、協力者の家庭菜園等で活用する。	生ごみを「EMほかし」で攪拌することにより、堆肥化を推進しました。生ごみを焼却せずに堆肥化することにより、ごみの減量と二酸化炭素の発生を抑制し、資源の再循環を図ることができた。	(円) 79,075	(円) 79,075	(円) 75,524
		代表 佐々木 重規			必要額		
2	地域の竹で生ごみコンポスト【ごみ減量と地域循環】	山城ごはん	鹿背山の竹を細かく粉砕した「竹チップ」を基材にしたコンポストを制作。家庭から排出される生ごみを、竹チップコンポストへ投入しごみの減量化を目指す。竹チップの制作過程や使い方の講習会等を開催し、実践者100世帯を目指す。	12回開催した「竹チップコンポスト体験講座」へ83組の方に参加いただき、ごみを減らす事への必要性、環境問題などを意識していただくことができた。また、エコクラブ体験講座(6回)、エコクッキング体験講座(3回)、廃棄するものやフードマイレージを減らす取り組みをテーマに「環境・食育講座」(1回)を開催し、環境に関する情報を発信しました。講座では、参加者間で情報提供しあう時間を作り、様々な取り組みに対して理解を深めていただけたと考えています。	(円) 300,000	(円) 300,000	(円) 300,000
		代表 堤 明日香			上限額		
3	フードバンク木津川	特定非営利活動法人 手をつないで	フードバンク事業の理念を一般家庭に周知すると共に、食品ロスの削減にも繋がっていることを知っていただく。また、食品メーカーにも同様の理解をいただく。今年度は、11,000点の食品寄贈を目標とする。	市内6スーパーと社会福祉協議会3支所で、通年フードドライブを実施し、食品の回収を180回、回収食品の仕分作業を104回、配布団体への配布準備及び配布を各12回、ボランティアミーティング12回、出前授業及びエコフェスタへの応援を各4回、フードパントリー応援を2回実施しました。また、6スーパー店頭でのチラシ配布を20回実施し、2024年1月時点で8,362点、重量にして2,831kgの食品を支援が必要な方、支援を希望された団体に提供しました。	(円) 300,000	(円) 300,000	(円) 300,000
		理事長 破石 俊夫			上限額		
4	食とモノのRe-bornプロジェクト	kichi_lab_art	(A)「もってけドロボー蚤の市」(目標:利用者1,080人 54日間開催×20人)古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげる。 (B)エシカルカフェ「わんこいん食堂」(目標:利用者120人 3日間開催×40人)木津川市産の規格外野菜を使った夕ご飯をわんこいん(大人500円、子ども100円)で提供。また、賞味期限間近の食材を寄付してもらい「フードドライブ」で提供された食材を活用し提供することによりフードロスを減少する。食堂で排出した生ごみを堆肥化し、キチキチ農園での野菜の育成に活用し食堂の食材として活かす。	(A)「もってけドロボー蚤の市」(利用者540人 54日間開催)古くても良い物を募集し、楽器や子どものきのおもちゃ・育児グッズ等をSNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげ、ゴミの削減を図ることができた。「ダーニングWS」(参加者9人、2日間開催)リサイクル品を修理して使うダーニング(衣類の補修)ワーキングショップを開催し、破れたセーターや穴の開いた靴下等をおもしろく補修し、愛着のあるものを長く大切に使うことを実践できた。「整理整頓からゴミを減らそう講演会」(参加者4人 1日間開催)プロの収納アドバイザーを講師として、「整理整頓からゴミを減らそう」をテーマに講演会を実施しました。家の中を整理整頓することで不要なものの購入を防ぎ、結果的にゴミを減らすことにつなげることを参加者へ伝えることができました。 (B)エシカルカフェ「わんこいん食堂」(利用者130人 3日間開催)木津川市産の規格外野菜や賞味期限に近い加工品を使った食堂は低価格で提供することで、子育て世代を中心に多くの利用者に好評を得ることができた。フードロスを推進するだけでなく、利用者に地産地消を呼びかけることにもつながった。	(円) 300,000	(円) 300,000	(円) 300,000
		代表 加藤 史江			上限額		
5	制服のアップサイクル	きづがわ制服リユース(旧イマール)	昨年度に不要になった制服の回収を行い、制服等約130点の補修やクリーニングによるアップサイクルを実施しました。今年度は有償(クリーニング代)で希望者に向けて譲渡会を開催し、将来的な団体の自立を目指します。また、今年度も制服のリユースを推進し、廃棄される制服を減少させます。活動に協力してくれる学校を増やして活動を拡げていく。	回収BOXをしたことにより、制服等を効率的に回収することができました。また、昨年度実施することができなかった回収した制服等の「引渡会」を行い必要とされている方に36点の制服等を譲渡することができました。不要となり処分される制服を回収し必要な方へ譲渡することにより、家庭における可燃ごみ量を減少することができたと考えています。	(円) 300,000	(円) 300,000	(円) 300,000
		代表 川崎 あき			上限額		
小計					(円) 1,279,075	(円) 1,279,075	(円) 1,275,524

2. 地域内ごみ減量等推進事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績(成果・達成度)	補助申請額	交付決定額	交付決定額
6	自分たちのために、未来のために 使い捨てない暮らし方 ～私たちにできること～	木津川市子どもエコクラブサポーターの会	適正に循環・処理されずに自然界に放出されるプラスチックを減らすことの重要性を広く市民、事業者へ伝える。給水スポットを街中に増やすことで、使い捨て容器以外の選択肢を増やし、日常からマイボトルを持ち歩きやすいまちを作る。 1)一昨年度からスタートした給水スポット協力店舗・事業所をさらに募る。(目標8店舗追加) 2)イベントでマイボトルの携帯を呼びかけ、メリットを伝える(200名)。	木津川アート(1回)・エコフェスタきづがわ(4回)や市立小学校で行われる出前授業において給水スポット及びマイボトル携帯の啓発を行いました。また、NPO法人の実施された全国スーパーマーケット環境調査(容器包装の現状等調査)に参加しました。市内で給水スポットの協力店を増やす活動を行い、令和6年4月現在で約30店舗に参画いただくことができました。	(円) 100,000	(円) 100,000	(円) 100,000
		代表 立花 志保			上限額		
小計					(円) 100,000	(円) 100,000	(円) 100,000

3. 地域型ふれあい収集事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績	補助申請額	交付決定額
	申請無し				(円) 0	(円) 0
小計					(円) 0	(円) 0

(円)

補助申請額合計	1,379,075
交付決定額合計	1,379,075
実績報告確定額合計	1,375,524